



平成25年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年12月26日

上場会社名 株式会社ダイユーエイト 上場取引所 東
 コード番号 2662 URL <http://daiyu8.co.jp>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 浅倉 俊一
 問合せ先責任者(役職名) 常務取締役管理統括部長兼財務部長 (氏名) 石黒 隆 (TEL) 024(545)2215
 四半期報告書提出予定日 平成25年1月4日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年2月期第3四半期の連結業績(平成24年2月21日～平成24年11月20日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|--------|------|-------|-------|-------|-------|--------|-----|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 25年2月期第3四半期 | 28,791 | 1.7 | 981 | △43.4 | 968 | △44.0 | 626 | 8.5 |
| 24年2月期第3四半期 | 28,300 | 16.8 | 1,732 | 752.2 | 1,727 | — | 577 | — |

(注) 包括利益 25年2月期第3四半期 636百万円(11.0%) 24年2月期第3四半期 573百万円(—%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 | |
|-------------|-----------------|---|----------------------------|---|
| | 円 | 銭 | 円 | 銭 |
| 25年2月期第3四半期 | 84.44 | — | — | — |
| 24年2月期第3四半期 | 89.72 | — | — | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | |
|-------------|--------|------|-------|------|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 25年2月期第3四半期 | 26,530 | 18.3 | 4,859 | 14.7 | — | — |
| 24年2月期 | 24,155 | 14.7 | 3,554 | 14.7 | — | — |

(参考) 自己資本 25年2月期第3四半期 4,848百万円 24年2月期 3,548百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| 24年2月期 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 25年2月期 | — | 9.00 | — | 11.00 | 20.00 |
| 25年2月期(予想) | — | 10.00 | — | 10.00 | 20.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年2月期の連結業績予想(平成24年2月21日～平成25年2月20日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 | |
|----|--------|------|-------|-------|-------|-------|-------|------|----------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 | 銭 |
| 通期 | 37,400 | △3.4 | 1,430 | △28.0 | 1,370 | △30.4 | 750 | 81.0 | 100.07 | — |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※通期の連結業績見通しについては、現段階では上記の連結業績予想に重要な変更はありません。なお、1株当たり当期純利益につきましては、4月に行った公募及び第三者割当による新株式発行により増加した株式数の期中平均株式数を考慮した7,494千株を基に算出しております。詳細は添付資料3ページ「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 社(社名) 、除外 社(社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|----------|------------|----------|------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 25年2月期3Q | 7,734,000株 | 24年2月期 | 6,434,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 25年2月期3Q | 117株 | 24年2月期 | 76株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 25年2月期3Q | 7,414,545株 | 24年2月期3Q | 6,433,937株 |

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | 3 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | 3 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 4 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 4 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 4 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 4 |
| (4) 追加情報 | 4 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| (3) 継続企業の前提に関する注記 | 9 |
| (4) セグメント情報等 | 9 |
| (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 11 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成24年2月21日から平成24年11月20日まで）におけるわが国の経済は、東日本大震災からの復興関連需要等により一部で持ち直しの動きが見られたものの、新興経済地域の成長鈍化や欧州債務危機問題を背景とした世界経済の減速傾向や長引く円高の影響を受け、欧米・アジア・新興国向け等全方位的に輸出が減少し、企業の設備投資や国内生産活動が弱まる中で、先行き不透明な状況に陥っています。雇用・所得環境の改善は厳しく、個人消費は依然として低価格志向の消費が定着している状況にあります。

このような状況のもと、新規出店としまして、ペット専門店「ペットワールドアミーゴ」は須賀川店（開店3月、福島県）、多賀城店（同6月、宮城県）、神栖店（同8月、茨城県）、山形南店（同10月、山形県）の計4店開設しました。また、自転車専門店「One's cycle」草加店及び八潮店（開店4月）、川口店（同6月）の3店開設により当社グループとして初めて埼玉県に進出するとともに、10月には山形南店（山形県）を開設いたしました。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の店舗数は、83店舗（食品スーパー部門はホームセンター店舗数に含めております）となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループ（当社及び連結子会社）の連結売上高は287億9千1百万円（前年同期比1.7%増）、連結営業利益は9億8千1百万円（同43.4%減）、連結経常利益は9億6千8百万円（同44.0%減）、連結四半期純利益は6億2千6百万円（同8.5%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

[ホームセンター事業]

ホームセンター事業は、営業休止店舗を除く既存店ベースで、客単価が前年同期比0.5%減少でしたが、客数が前年同水準（前年同期比0.0%）の結果、既存店売上高は同0.6%減少しました。

既存店ベースでの商品別販売動向につきましては、春先は低温のため灯油販売高が大きく伸長しましたが、利益率としては押下げ要因でありました。また、昨年売上を大きく伸ばした木材塗料・工具金物・作業用品等や日用品・家庭用品・収納用品・インテリア・家電製品等の生活必需品は、家屋等の復旧・修繕や避難のための転居や仮設住宅入居等に伴う需要がほぼ一巡し、売上高は前年対比で減少しました。しかしながら、東京電力福島第一原子力発電所事故による放射能災害の発生以降販売不振であった園芸用品や植物が、今年に入り除草剤・園芸用土・花苗・鉢花といった商品を中心に売れ行きを回復し、また転居に伴う復興需要が続いていることから、物置等エクステリア関連商品の販売が順調でした。夏場は、高温少雨の天候が続いたため、よしず・すだれ・網戸・ミネラルウォーター等の避暑対策商品の売上が好調でした。加えて、昨年震災の影響で売れ行きが低調だった切り花・ビール・ギフト等の時節商品が伸長しました。残暑が厳しく夏物商品の需要が続いた後、秋口からは日を追う毎に気温低下が進み、灯油やストーブ・アクセントラグ・こたつ布団等の暖房用品の売上が伸長しました。

一方、セグメント利益につきましては、節電対策及び長期的なコスト削減を図る目的でホームセンター計25店舗の照明を発光ダイオード（LED照明）に切り替え、2億3千1百万円全額費用計上しました。これらの要因によりセグメント利益（営業利益）が減少しました。

これらの結果、ホームセンター事業における売上高は239億5千9百万円（前年同期比2.1%減）、セグメント利益（営業利益）は15億6千5百万円（同29.1%減）となりました。

[不動産事業]

不動産事業における売上高は5億9千2百万円（前年同期比6.3%減）、セグメント利益（営業利益）は2億1千3百万円（同10.5%減）となりました。

なお、近隣型ショッピングセンター「エイトタウン」は、当第3四半期連結会計期間末において計5箇所であります。

[その他]

当事業における売上高は「ペットワールドアミーゴ」を展開するペットショップ事業及び「One's cycle」を展開する自転車専門店事業の新規出店等により52億4千5百万円（前年同期比24.8%増）となりましたが、開店一時費用等の増加によりセグメント損失（営業損失）は1億6千2百万円（前年同期はセグメント損失1億4百万円）となりました。

(注) 第1四半期連結会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しており、当第3四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ23億7千4百万円増加し、265億3千万円となりました。この主な要因は、新規出店及び年末年始向け季節時節商品仕入増に伴うたな卸資産の増加、新規出店に伴う固定資産の増加及び敷金及び保証金の増加、ならびに新株式の発行等による株主資本の増加等に伴う現金及び預金の増加等であります。

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ10億6千9百万円増加し、216億7千万円となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金の増加、短期借入金の増加、未払法人税等の減少、長期借入金の減少等であります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ13億4百万円増加し、48億5千9百万円となりました。この主な要因は、平成24年4月26日を払込期日とする公募による新株式発行及び平成24年5月16日を払込期日とする第三者割当による新株式発行による資本金及び資本準備金の増加、ならびに利益剰余金の増加であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績見通しについては、現段階では重要な変更はありません。

なお、1株当たり当期純利益につきましては、平成24年4月26日を払込期日とする公募による新株式発行及び平成24年5月16日を払込期日とする第三者割当による新株式発行により増加した発行済株式数の期中平均株式数を考慮した7,494千株を基に算出しております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

(4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成24年2月20日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成24年11月20日) |
|-------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,455,273 | 2,137,633 |
| 売掛金 | 226,114 | 360,189 |
| たな卸資産 | 6,145,489 | 7,233,699 |
| その他 | 925,755 | 547,132 |
| 流動資産合計 | 8,752,631 | 10,278,654 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 15,041,072 | 15,337,816 |
| 減価償却累計額 | △7,109,216 | △7,510,392 |
| 建物及び構築物(純額) | 7,931,856 | 7,827,424 |
| 土地 | 2,038,936 | 2,038,936 |
| リース資産 | 750,393 | 865,193 |
| 減価償却累計額 | △249,283 | △372,236 |
| リース資産(純額) | 501,110 | 492,957 |
| その他 | 416,805 | 1,105,707 |
| 減価償却累計額 | △253,424 | △275,399 |
| その他(純額) | 163,380 | 830,308 |
| 有形固定資産合計 | 10,635,284 | 11,189,625 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 147,543 | 94,615 |
| その他 | 1,178,479 | 1,174,835 |
| 無形固定資産合計 | 1,326,023 | 1,269,451 |
| 投資その他の資産 | | |
| 敷金及び保証金 | 2,158,021 | 2,459,979 |
| その他 | 1,302,816 | 1,351,290 |
| 貸倒引当金 | △18,990 | △18,990 |
| 投資その他の資産合計 | 3,441,847 | 3,792,280 |
| 固定資産合計 | 15,403,155 | 16,251,357 |
| 資産合計 | 24,155,786 | 26,530,011 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成24年2月20日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成24年11月20日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 5,785,206 | 6,274,303 |
| 短期借入金 | 1,835,000 | 3,061,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 2,164,446 | 2,175,827 |
| 1年内償還予定の社債 | 110,000 | 110,000 |
| リース債務 | 178,177 | 205,003 |
| 未払法人税等 | 524,084 | 148,892 |
| その他 | 1,885,393 | 2,030,728 |
| 流動負債合計 | 12,482,307 | 14,005,754 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 325,000 | 250,000 |
| 長期借入金 | 5,360,553 | 5,020,788 |
| リース債務 | 429,102 | 392,752 |
| 長期預り敷金保証金 | 1,215,597 | 1,186,991 |
| 退職給付引当金 | 193,417 | 208,942 |
| 役員退職慰労引当金 | 282,387 | 293,405 |
| 資産除去債務 | 129,588 | 137,053 |
| その他 | 182,947 | 174,676 |
| 固定負債合計 | 8,118,594 | 7,664,610 |
| 負債合計 | 20,600,901 | 21,670,365 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 894,778 | 1,303,173 |
| 資本剰余金 | 816,287 | 1,224,682 |
| 利益剰余金 | 1,820,448 | 2,298,402 |
| 自己株式 | △42 | △74 |
| 株主資本合計 | 3,531,470 | 4,826,182 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 17,624 | 24,570 |
| 繰延ヘッジ損益 | △174 | △2,499 |
| その他の包括利益累計額合計 | 17,449 | 22,070 |
| 少数株主持分 | 5,965 | 11,393 |
| 純資産合計 | 3,554,884 | 4,859,646 |
| 負債純資産合計 | 24,155,786 | 26,530,011 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成23年2月21日 至平成23年11月20日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成24年2月21日 至平成24年11月20日) |
|---------------------|---|---|
| 売上高 | 28,300,705 | 28,791,584 |
| 売上原価 | 20,108,119 | 20,494,313 |
| 売上総利益 | 8,192,585 | 8,297,270 |
| 販売費及び一般管理費 | 6,459,763 | 7,315,960 |
| 営業利益 | 1,732,822 | 981,310 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 8,108 | 8,416 |
| 受取配当金 | 3,971 | 4,050 |
| 受取手数料 | 89,005 | 97,535 |
| その他 | 67,800 | 60,324 |
| 営業外収益合計 | 168,884 | 170,326 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 149,422 | 130,878 |
| その他 | 24,558 | 52,381 |
| 営業外費用合計 | 173,980 | 183,260 |
| 経常利益 | 1,727,726 | 968,376 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 736 | — |
| 受取損害賠償金 | — | 106,167 |
| その他 | 1,800 | 8,106 |
| 特別利益合計 | 2,536 | 114,273 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 10,343 | 4,180 |
| 災害による損失 | 610,572 | — |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | 56,115 | — |
| 特別損失合計 | 677,030 | 4,180 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,053,232 | 1,078,469 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 565,453 | 433,515 |
| 法人税等調整額 | △92,994 | 13,459 |
| 法人税等合計 | 472,458 | 446,974 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 580,773 | 631,494 |
| 少数株主利益 | 3,516 | 5,428 |
| 四半期純利益 | 577,257 | 626,066 |

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成23年2月21日 至平成23年11月20日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成24年2月21日 至平成24年11月20日) |
|-----------------|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 580,773 | 631,494 |
| その他の包括利益 | | |
| 其他有価証券評価差額金 | △9,632 | 6,946 |
| 繰延ヘッジ損益 | 2,018 | △2,324 |
| その他の包括利益合計 | △7,613 | 4,621 |
| 四半期包括利益 | 573,159 | 636,115 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 569,643 | 630,687 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 3,516 | 5,428 |

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年2月21日 至平成23年11月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注) | 合計 |
|-----------------------|---------------|---------|------------|------------|------------|
| | ホームセンター 事業 | 不動産事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 24,478,315 | 572,014 | 25,050,329 | 3,250,375 | 28,300,705 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 1,211 | 60,096 | 61,307 | 951,947 | 1,013,254 |
| 計 | 24,479,526 | 632,110 | 25,111,636 | 4,202,323 | 29,313,960 |
| セグメント利益又は損失(△) | 2,206,652 | 238,443 | 2,445,095 | △104,064 | 2,341,031 |

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ペットショップ事業、複合商業施設事業、オフィスサプライ事業、自転車専門店事業、リフォーム事業、ハーブ・花・苗事業、輸入卸売事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------|-----------|
| 報告セグメント計 | 2,445,095 |
| 「その他」の区分の利益 | △104,064 |
| セグメント間取引消去 | 21,825 |
| 全社費用(注) | △630,033 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 1,732,822 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成24年2月21日 至 平成24年11月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注) | 合計 |
|-----------------------|---------------|---------|------------|------------|------------|
| | ホームセンター 事業 | 不動産事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 23,958,868 | 567,437 | 24,526,305 | 4,265,278 | 28,791,584 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 577 | 24,630 | 25,207 | 980,221 | 1,005,429 |
| 計 | 23,959,446 | 592,067 | 24,551,513 | 5,245,500 | 29,797,013 |
| セグメント利益又は損失(△) | 1,565,374 | 213,349 | 1,778,724 | △162,170 | 1,616,553 |

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ペットショップ事業、複合商業施設事業、オフィスサプライ事業、自転車専門店事業、リフォーム事業、ハーブ・花・苗事業、輸入卸売事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------|-----------|
| 報告セグメント計 | 1,778,724 |
| 「その他」の区分の利益 | △162,170 |
| セグメント間取引消去 | 23,366 |
| 全社費用(注) | △658,610 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 981,310 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、従来、「ホームセンター事業」に含めておりましたオフィスサプライ事業、自転車専門店事業を、「その他」の区分に変更しております。これは、当社の組織改編に伴い経営資源の配分決定及び業績評価をするために、定期的に検討を行う対象を変更したことによるものであります。

また、第2四半期連結会計期間より、「その他」の区分に含めておりました「食品スーパー事業」を、「ホームセンター事業」及び「複合商業施設事業」の区分に含めております。これは、平成24年6月21日付で「食品スーパー事業」を営む連結子会社であった株式会社エイトフーズを、当社が吸収合併したことによるものであります。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成24年4月26日を払込期日とする公募による新株式発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ361,272千円増加しております。また、平成24年5月16日を払込期日とする第三者割当による新株式発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ47,122千円増加しております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間において資本金が408,395千円、資本準備金が408,395千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が1,303,173千円、資本準備金が1,224,682千円となっております。